



JAL、2015年の定時到着率で世界1位に ～対象となるすべての部門で1位となり、三冠を獲得～



2016年1月7日
第15191号

<http://flightstats.com/company/media/on-time-performance-awards/>

JALは、航空会社の定時到着率など、さまざまな分析をおこなっている米国のFlightStats社より、2015年1月～12月の国内線・国際線を合わせた運航実績について、主要航空会社部門(Major International Airlines)で世界1位に認定されました。そのほか、アジア・パシフィック主要航空会社部門(Asia-Pacific Major Airlines)でも1位に認定されたほか、アライアンス部門(Airline Alliances)でもJALが所属するワンワールドが1位に認定され、JALが対象となる3部門すべてにおいて1位となりました。過去、三冠を獲得した航空会社は世界でJALだけであり、今回は2010年(※1)、2012年、2013年に続いて4度目の三冠獲得となりました。

(※1)2010年はアライアンス部門が設定されておらず、アジア・リージョナル航空会社部門(現在は設定なし)で受賞。

■主要航空会社部門(Major International Airlines)

一定規模の路線・便数を有する全世界の航空会社が対象。

JALの国内線・国際線定時到着率が「89.44%」となったことが、主要航空会社部門で1位と評価されました。

JALグループは2009年、2010年、2012年、2013年に続き、今回で5回目の受賞となります。

■アジア・パシフィック主要航空会社部門(Asia-Pacific Major Airlines)

アジア太平洋地域(アメリカ合衆国は除く)を拠点とする航空会社が対象。

JALの国内線・国際線の定時到着率が「89.44%」となったことが、アジア・パシフィックエリアで1位と評価されました。

JALグループは2009年(※2)、2010年、2012年、2013年、2014年に続き、今回で4年連続、6回目の受賞となります。

(※2)2009年のみリージョナル航空会社も含めた評価となっており、その際はJALエクスプレス(2014年にJALと統合)が1位を受賞しています。

■アライアンス部門(Airlines Alliances)

航空会社が所属するアライアンスが対象。

ワンワールドアライアンス(JAL所属)がアライアンス部門で1位と評価されました。

アライアンス部門が設けられた2012年と2014年に続いて、今回で3回目の受賞となります。

お客さまの定時出発へのご理解・ご協力と、JALグループ全社員の定時運航への取り組みが今回の三冠獲得につながりました。

JALグループは、これからも安全運航の堅持を前提に、さらなる定時性向上にチャレンジし、日本の交通機関が誇る高い定時性品質を世界に向けて発信し続けてまいります。



<参考>

FlightStats社: 米国オレゴン州ポートランド、社長Jeff Kennedy氏。2001年設立。世界のエアラインのリアルタイムな運航情報や、路線・空港ごとの統計的なデータを集計・公表しており、同社のデータは海外メディアなどでも広く紹介・引用されている。

表彰制度: 2009年より集計実績に基づく表彰制度を設立し、今回が7回目となる。
JALおよびワンワールドアライアンスが今回1位を獲得した3部門のほか、Low-Cost Airlines部門などの複数の表彰部門がある。

定時到着: FlightStats社の基準では、「定刻に対して遅延15分未満に到着した便の全体に占める比率」を示す。
また、JALの定時到着実績は、JAL運航便とJ-AIR運航便の合計が対象。

以上